

日本語教師【初任】(難民等) 研修における教育内容 (案)

3 領域	5 区分	16 下位区分	教育内容	
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	①世界と日本	(1)世界における難民等の現状 (2)日本における難民等の現状	
		②異文化接触	(3)日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針及び受入れ体制等 ・インドシナ・条約・第三国定住難民 ・中国帰国者 ・その他, 特別な背景により在留を認められた者	
		③日本語教育の歴史と現状	(4)難民等に対する日本語教育 ・インドシナ・条約・第三国定住難民に対する日本語教育 ・中国帰国者に対する日本語教育	
	教育に関わる領域	言語と社会	④言語と社会の関係	(5)難民等の多様性 ・言語背景, 文化的背景 ・日本での言語使用目的・環境
			⑤言語使用と社会	(6)難民等の社会参加 ・地域支援関連情報 ・エンパワーメント (7)難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語学習
		⑥異文化コミュニケーションと社会	(8)難民等の異文化受容・適応 ・異文化間トレランス	
	言語に関わる領域	言語と心理	⑦言語理解の過程	(9)学習者要因 ・学習動機と学習継続意識
			⑧言語習得・発達	(10)言語習得と言語喪失 ・バイリンガル
			⑨異文化理解と心理	(11)教育・発達心理学 ・特別支援のニーズ ・適応障害 ・PTSD, ト라우マ
	言語と教育	⑩言語教育法・実習	(12)演習 ・対象別指導法 (初等教育未修了者に対する日本語教育, 生涯学習としての日本語教育等) ・教室活動 ・実習(教室活動への参加や参与観察, 支援活動) ・教材作成 ・評価及びフィードバックの方法 ・自律学習 ・課題の共有(対支援関係者) ・経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化(経験や他者を通して学ぶ力の育成)	

資料 4 - 2

		⑪異文化間教育と コミュニケーション教育	
		⑫言語教育と情報	(13)難民等のための教材・教具のリソース ・通信, eラーニング, ICTツール(SNSなど)
	言語	⑬言語の構造一般	
		⑭日本語の構造	
		⑮言語研究	
		⑯コミュニケーション能力	(14)異文化調整能力 ・専門家以外に対する学習者の日本語能力の伸びや変化等に関する説明